

比で考えても高いとみるべきではないでしょうか。運転していて気がつくのが、信号が「赤」になってから進入する車が多いと感じますし、交差点での事故発生も5割を超えています。どうしても、時間的余裕がなくなると危険運転になりがちでありますので、時間に余裕を持ってお互い安全運転に心掛けていきましょう。

なお、治安関係では全国トップクラスとなっており、安心安全な県と評価されています。

学校法人東海山形学園について

(9月総務常任委員会)

県民の一人が、学校法人東海山形学園の財務書類の開示を求めましたが、県は「学校法人の正当な利益を害する恐れがある」として一部を不開示としました。これを「不服」として山形地裁に提訴。山形地裁は原告の請求を棄却し県が勝訴。それを不服として仙台高裁に控訴。仙台高裁では、県に対し全ての財務書類の開示を命じました。

そこで、県は最高裁に上告。上告の理由として、仙台高裁が行った判決は「全ての人に開示して問題はない」と言うものですが、これまでの最高裁判例や私立学校法第47条2項では「公開できるのは利害関係者だけ」となっているのを受け、上告しないことによって、全国の私立学校にも影響が及ぶと判断し県は最高裁に上告しました。その後、最高裁は上告を受理しない決定を行い、仙台高裁の判決が確定となりました。

所管の総務常任委員会におきましても集中審議を行いました。結論としまして、山形県が進めてきたことは、法的に何ら問題になるものではありません。

また、私立学校に対する助成は学校法人東海山形学園を始め全ての学校に同じルールで支援しており、特定の法人だけ特別に支援を行っている事はありません。

また、各学校の運営は、その学校の理事会や評議委員会が主体的に決めるべきと考えます。

高校授業料の段階的完全無償化示される

高等学校における授業料無償化が今年の4月からスタートしました。しかし、全ての高校生が「無償化」になって学ぶ環境が整った訳ではありません。所得制限によって恩恵が受けられない生徒（県立高校18.7%・私立高校で12.4%）が出ております。そのため、これまで毎年のように授業料の軽減に吉村知事は努めて参りました。また、私も所管の総務常任委員会で取りあげ、全生徒の無償化について検討をお願いしておりました。

先日の代表質問に対しまして、子育て環境の改善に向け幼児教育・保育、高校授業料を無償にしていく考えが吉村知事から示されました。まさに、英断といえます。幼児教育・保育につきましては、消費税率引上げと共に昨年の10月から3歳から5歳までの幼児の方が無償になりましたが、0歳～2歳までの幼児につきましては市町村民税非課税世帯のみが無料となり、その他の方は有料となっています。

「子育て環境日本一」を掲げる吉村知事のこの度の政策は、若い世代にとりまして、家計的にも大きな手助けになるのではないのでしょうか。財源の課題もあり段階的に進んでいくものと思いますが、出来るだけ早く無償化なるよう努力して参ります。

県政報告会は当分の間、中止とさせていただきます

例年開催しておりました「高橋けいすけ県政報告会」につきましては、新型コロナウイルス感染予防の観点から当分の間、中止とさせていただきます。ご理解をお願いいたします。

一日も早いコロナの終息を

高橋けいすけ

県議会報告

No. 41	自宅/山形市高堂1-5-20-3 ☎023-643-4847
2021年1月1日	県議会/県政クラブ執務室 ☎023-630-3211
発行人/高橋啓介県議会議員	



▲吉村知事と、『新型コロナウイルス』克服と経済活性化について意見交換する高橋県議

新春のお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスの感染予防に心がけ、健やかに新年を迎えられましたことご推察申し上げます。今年、ワクチンが接種でき安心して生活が送れる一年になることを期待しております。

過去最高の県民所得

さて、昨年暮れに県民所得が公表され、過去最高の26位となりました。これもひとえに、県民の皆様方のご努力と吉村県政における政策が功を奏し成しえた結果だと思えます。ご案内のように、本県産業の99.8%が中小小規模事業所で占められ、また、基幹産業の農業を含め、どう自治体が支援していくのか。県内産業の活力が元気の源といえます。その活力を目指し、知事は使い勝手のいいオーダーメイドの補助制度を進めて参りました。それらの成果が着実に実を結んだ結果ではないのでしょうか。本当に嬉しいことだと思えます。

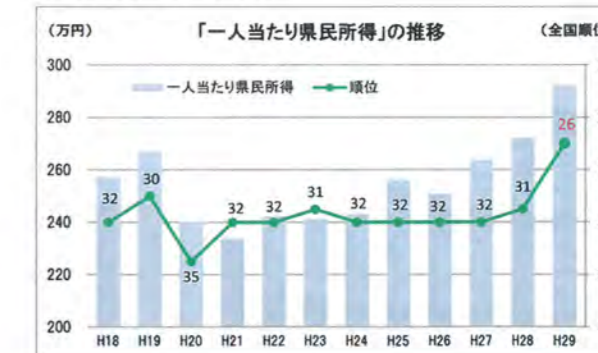
また、客観的データを基に、2年に一度の「全国都道府県幸福度ランキング」が発表さ

れ、前回の10位から8位にランク付けになりました。その中でも、正規雇用が全国で一番多い県となっています。

吉村知事は、新型コロナウイルス克服・経済再生、そして昨年7月末の豪雨災害対策を精力的に行い、県民の幸せを求めて日々努力を重ねております。

一月には知事選挙が予定されており、吉村知事の継続を求めて頑張つて参ります。

最後に、今年一年皆様方のご多幸を心から御祈念申し上げます。



皆様方からの県政に対するご意見をお待ちしております。TEL・FAX 023-643-4847

所属委員会：総務委員会（委員）、健康医療・子育て支援対策特別委員会（委員長）

高橋啓介ホームページ <http://www.keisuke-t.com> 県議 高橋啓介 検索



12月定例議会

去る12月1日から同月の18日まで12月定例議会が開かれました。通常ですと人事委員会勧告を受けて、給与改定を行うのが恒例でしたが、7月の豪雨と新型コロナウイルス感染症の追加補正。更に、県内での感染拡大を受けてキャンセルが相次ぐ夜間営業の飲食業に対する県独自の給付について14日に追加補正があり、慎重審議を重ね全ての議案が可決されました。なお、吉村知事に取りましては任期最後の議会となりました。



今年の人事委員会勧告は、新型コロナウイルス感染の影響等を受けて期末手当がマイナス(0.05ヵ月)となり、人件費等の減額。更に、7月の豪雨被害につきましては、8月に臨時議会そして9月定例議会の2度に亘って予算を計上し復旧に全力を挙げてきましたが、その後の継続調査により更に被害が拡大し被害総額約432億円。その結果、更に農作物の生産・加工に必要な施設・機械等を増額し、営農意欲の維持に努めると共に、河川整備を促進させ、県民の安全安心を確保するための予算となりました。更に、新型コロナウイルスによって解雇・雇止めされた方の給付金の追加補正。14日の追加補正では、8億1,700万円が上程され、今年度の累計予算総額は7,436億7,500万円となりました。

今年度の累計予算総額は7,436億7,500万円となりました。

来年度の概算要求固まる 総額 6,997億円

来年度の概算要求が12月1日に示されました。今後知事査定を受けて予算化されますが、その中でも、特別枠として①デジタル化の取組み

②移住・定住の取組み③雇用の創出・起業の促進④女性の賃金向上を挙げています。

令和2年度予算が6,134億円ですので、14.1%の伸びとなっています。

なお、11月現在の要求額であり、政府の予算編成や地方財政対策の内容により変動することも考えられます。なお、予算が確定して議会に示されるのは令和3年2月16日となっています。

あかねヶ丘陸上競技場を廃止

予算以外の議案として、47インターハイ開催に合わせて整備されました県あかねヶ丘陸上競技場廃止の提案がなされました。

県としては、天童の総合運動公園内に代替施設を整備済みであることから継続して使用する考えはなく、そのため、日本陸上競技連盟の公認更新は行わない方針でありました。ただ、現有施設は年間12万人(約9割が山形市内の中高



▲あかねヶ丘陸上競技場

生)の方々が利用しており、山形市からは存続の要望が出されておりました。

協議を重ねる中で、山形市が市営陸上競技場として設置・管理する考えが示され、公認更新に伴う競技場の整備等を考慮して無償で貸与する流れとなっております。



高速道路の伸び率 1.56倍

吉村知事が就任する前の高速道路は、ミッシングリンクが多く整備率も50%で高速道路としての機能が発揮できない状況に



▲開通直前の酒田地区内の高速道路を視察

ありました。令和2年度は78%となり、東北全体との伸び率を比較してみますと本県の整備率は加速していることが明らかです。ましてや、太平洋側は、東日本大震災の復興予算を大幅につき込んでいます。これを、関係者の努力そして知事が関係機関や隣県の知事に働きかけを継続して行ってきた結果であると言えます。なお、令和8年度末で進捗率は90%を見込んでいます。

年度	山形県	東北全体
平成21年度	50%	72%
令和2年度	78%	92%
備考(伸び率)	1.56倍	1.28倍

時間に余裕を持って

免許更新のため、天童の免許センターに行つて講習を受けた際に、本県の交通事故発生件数が東北で最悪になっている話をお聞きし、調査させて戴きました。全国でも9位。秋田県や岩手県と比較しても、人口10万人あたりの交通事故発生件数は2倍以上になっています。そのうち、山形市内で発生しているのが29.8%。人口

高橋啓介 活動記録

2020年 10月~

▼特別委員会として若手女性社員と県内定着についての意見交換会



▲慶応義塾大学先端生命科学研究所の現地視察(鶴岡市)



▲独立行政法人日本海総合病院の屋上へリポートの現地視察(酒田市)

▼日本海ヘルスケアネット(医療と介護の連携)栗谷代表理事との意見交換



▲東北公益文化大学(伊藤教授のゼミの学生)と県内定着についての意見交換